

カテゴリー5(モノハル艇)

インショアレース用

2009-2010

チェックシートの文章は利便のために簡略化している。SR本文が優先される

No.	SR item No.	確認指針	Yes or No	数			備考
				規定	搭載	他	
		パートA 基本事項					
3	1 2	艇の責任者の責任					SR熟読のこと
6	2 3	基本条件					
7	2 3 1 a	正常に機能するか					
8	2 3 1 b	定期的にチェックされ、維持されているか					
9	2 3 1 c	劣化を最小限にするように収納されているか					
10	2 3 1 d	即座に使用できるか					
11	2 3 1 e	使用目的、艇の大きさに適合する形式・寸法・容量か					
26	3 8	ハッチ及びコンパニオンウェイ					
27	3 8 1	最大船幅ビームより前方に蓋が内側に開くハッチを設けない					
28	3 8 2 a	0.071㎡以上のハッチは90°のヒールでも水面上にあること					
29	3 8 2 b	恒久的に取り付けられていること					
30	3 8 2 c	即座に閉じられ、180°転覆でも確実に閉鎖できること					
31	3 8 3 a	ハッチがシアラインより下方に及ぶ場合、コックピットの制限					
32	3 8 3 b	aの場合、シアラインのレベルまでせき止め板用意					
33	3 8 4 a	コンパニオンウェイのハッチの締め切り装置は内外から操作可					
34	3 8 4 b	固定装置					
35	3 8 4 b i	ハッチが開閉のどちらの状態でもその位置に保持できること					
36	3 8 4 b ii	ハッチには流出止めのラニヤード					
37	3 8 4 b iii	転覆の際には船内からの脱出口になれること					
38	3 9	コックピット					
39	3 9 1	構造的に堅牢で艇体の一部、ヒール時での速やかな自然排水					
40	3 9 2	完全に水密					
41	3 9 3	ビルジポンプの排水管はコックピット排水管につながらない					
42	3 9 4	コックピット床はLWLより2%LWL以上上に配置すること					
43	3 9 5	いかなるウェル(凹部)も3.09に規定するコックピットと看做す					
44	3 9 6	船尾へ開口している場合の最低面積は最大幅50%×最大深さ					
45	3 9 7	コックピット容積は表5のMoMu234、##の項を満足すること。					表5の注も適用
		コックピット排水口					
46	3 9 8 i	排水口の総面積は72年以前又は28f以下の艇は2×R25mm					72年はシリーズデート
47	3 9 8 ii	72年以降の艇は4×R20mm					
48	3 9 8 c	JSAFでは後端部に開閉式蓋を持つ場合は隙間を開口部と看做					
	4 1 1	セール番号はISAFの国際クラスあるいは公認クラスではRRS77とRRSアペンディックスGに可能な限り対応。その国のNAが割り当てた場合はこの限りではない					
		パートB ポータブル装備					
77	3 23	ビルジポンプ及びバケツ					
82	3 23 5 e	手動ビルジポンプ1台、					
83	3 23 5 f	1個の9L以上の頑丈なバケツでラニヤード付を用意					
84	3 24	コンパス					
85	3 24 1 b	コンパス1台(手持ちコンパスも可)					
102	4 5	消火器					
103	4 5 1	電気回路、エンジン、コンロ、ストーブがある場合消火器1台					
104	4 6	アンカー					
105	4 6 1	アンカー1組					アンカーはチェーン付
123	4 17	ヨット名 浮力のある様々なものにはヨット名を記入する					
125	4 22	ライフブイ					
127	4 22 1 a	ドローク付のライフブイ、もしくはドロークなしのライフスリング。レトロリフレクティブのテープがついていること					
	4 24	ヒービングラインは長さが15m-25mで、操舵席からすぐ使える					
		個人用装備品					
151	5 1	ライフジャケット JSAFでは本5.01に関わらずJCI検定品で可					カテ012ではISAFによる
152	5 1 1	各乗員は下記を満足するライフジャケットを装着					
153		a ホイッスルを装備					
154		b マリングレードのレトロリフレクティブを装着					
156		d インフレーターの場合は定期的に気密をチェック(口でよい)					
157		e ヨット名か着用者名がはっきりと書かれているもの					

No.	SR item No.			確認指針	Yes or No	数			備考
						規定	搭載	他	
				パートC 推奨項目					
52	3	14		パルピット、スタンション、ライフライン(3. 14は推奨)					
53	3	14	2 a	ライフライン変形は支持の中間点で50Nの荷重で50mm以内					
54	3	14	3 a	バウパルピットの高さで開口は表7を満足のこと、開いているバウパルピットではいかなる部分でも360mmの円盤が通らないこと					
55									
56	3	14	3 b	スタンパルピットないしは表7を満足するライフラインの設置					
57	3	14	3 c	ライフラインはスタンションで支持されワーキングデッキを連続して囲み、恒久的に2. 2mを超えない間隔で支持されること					
58	3	14	3 d	パルピットのアップパーレールは表7の上段ライフライン高より高い					
59	3	14	3 e	バウパルピットの上段レールは開閉式の場合レース中は閉じる					
60	3	14	3 f	パルピット、スタンションは通しボルト、接着、溶接で恒久的に設置					
61	3	14	3 g	パルピット、スタンション基部は最大船幅の5%又は150mm以上ワーキングデッキ外端より内側は不可					
62	3	14	3 h	スタンション基部はワーキングデッキより外側に取り付けは不可					
63	3	14	3 i	ライフラインによる囲みがスタンションパルピット基部に完全に支持されていればライン端部はデッキより後方の船体に固定も可					
64	3	14	3 j	ライフラインはバウパルピットに固定されていなくても良いが間隔150mmの範囲内でオーバーラップすること					
65	3	14	3 k	スタンションは下記の場合を除きまっすぐであること					
66	3	14	3 k i	デッキ上50mm以内ではベースから水平移動10mm以内					
67	3	14	3 k ii	デッキより50mm以上のところでは垂直よりの傾度は10°以下					
68	3	14	5	ライフラインの高さ、垂直方向の開口寸法、本数は表7による					
69	3	14	6 a	ライフラインの最小直径、要求される材質、仕様は表8による ライフラインはコーティングなし、ぴったりとしたスリーブも不可 時折スリーブの仕様は可であるが定期的に点検のため取り外す					
70	3	14	6 b	316グレードのスレンスワイヤーを推奨					
71			c	ライフラインの端部にラニヤード使用の場合、その部分の長さは100m以内、年1回取り換えのこと					
72			d	ライフラインの囲みを構成する全部品はワイヤー強度と同等とする					
73	3	14	7	パルピット、スタンション、ライフラインの材質は表9による					
98	4	1	2	セールをおろした状態でもセールナンバーを示せること					
107	4	7	1 a	フラッシュライト(懐中電灯)					
110	4	8	2	救急キットを搭載のこと					
119	4	11	1	耐水性海図					
121	4	13	1	エコー水深計ないし測深索を装備					
122	4	16		工具と予備部品					
	4	24		スローイングソックのヒービングライン					
	4	26	9	メインセールのラフの長さを60%縮小できるリーフ装置、ないしは4. 26. 6に規定するストームトリスル					
158	5	1	2	ライフジャケットは以下を満足すること					
	5	1	2 a	白色0. 75カンデラ8時間以上点灯のライトを装備					
159	5	1	2 b	150Nの浮力を持ち無意識の人でも顔が水面から45度に保てる標準的な体重より大きな人でも同等の機能(ISO12402-2					
160	5	1	2 c	腿紐、股紐を装備					
162	5	1	2 d	スプレーフード付き					
163	5	1	2 e	インフレーター付の場合は圧縮ガス膨脹システム付					